

調査概要

◆ 調査の目的

都居住外国人の増加と国籍の多様化が進む中、やさしい日本語を活用した情報提供の必要性がますます高まってきている。こうした状況を踏まえ、公益財団法人東京都つながり創生財団では、都居住外国人を対象としてやさしい日本語を活用した情報伝達に関する調査を実施する。

◆ 調査項目

1. 回答者の基本情報
2. 日本語の勉強について
3. やさしい日本語について
4. 日本語を聞くととき
5. 日本語を読むとき

◆ 調査対象

- 都居住の外国人
(ア) 現在の日本語能力が初級レベル（日本語能力試験N4～N5レベル相当）
(イ) 来日から5年以内

◆ 調査時期

令和7年3月1日～3月14日

◆ 調査手法

インターネットモニターを対象とするWeb調査

◆ 回収結果

373サンプル

◆ サンプル属性の内訳（母語）

母語	人数	割合
中国	95	25.5%
ベトナム	86	23.1%
韓国	65	17.4%
ネパール	37	9.9%
フィリピン	18	4.8%
米国	17	4.6%
インドネシア	10	2.7%
フランス	9	2.4%
ミャンマー	5	1.3%
英国	5	1.3%
ブラジル	4	1.1%
オーストラリア	4	1.1%
台湾	3	0.8%
ドイツ	3	0.8%
ナイジェリア	3	0.8%
スペイン	3	0.8%
タイ	2	0.5%
インド	1	0.3%
マレーシア	1	0.3%
オランダ	1	0.3%
ジンバブエ	1	0.3%

調査結果

図1 日本人の話す日本語がわからなくて困る場面

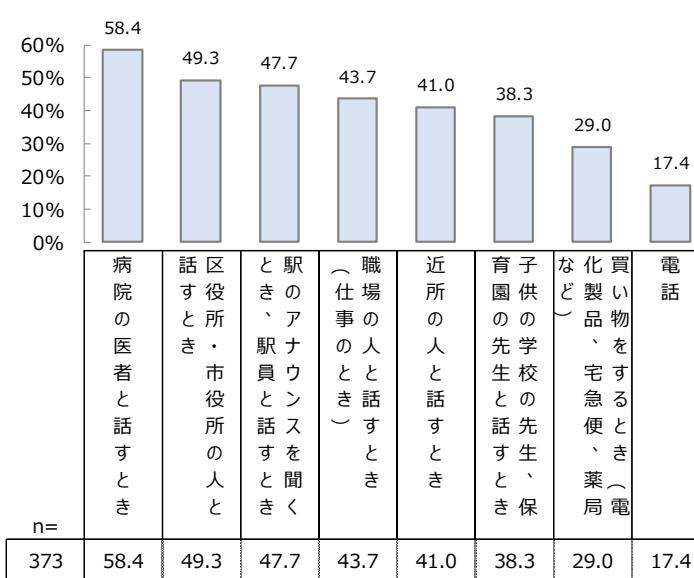
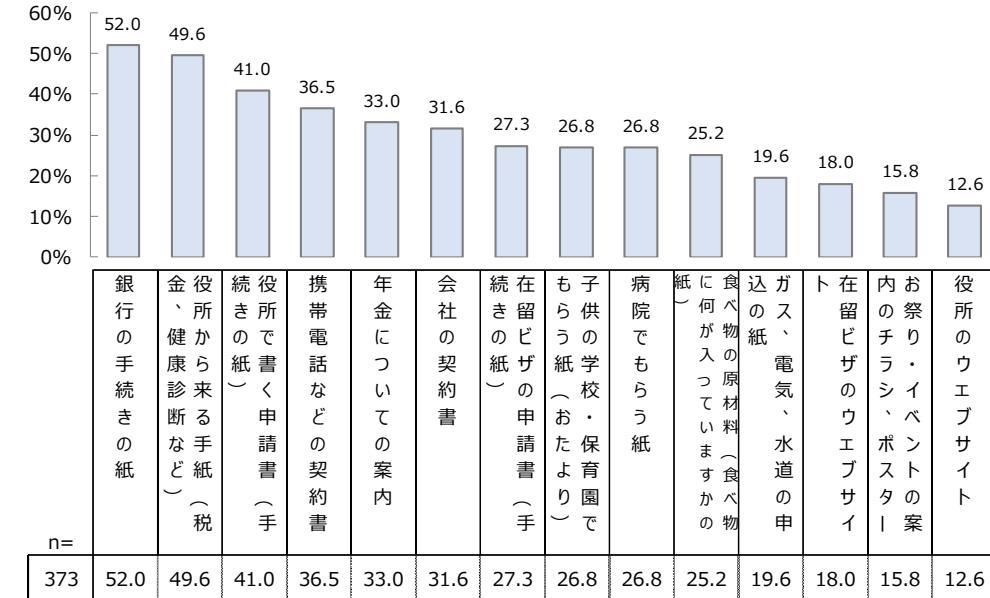


図2 日本語で読むのが難しいと思ったことがあるもの



- 「日本人の話す日本語は、難しいと思いますか」という質問には**92.8%が「はい（難しい）」と回答した**（報告書 p.23 参照）。
- 日本人が話す日本語で困る場所について聞くと、「病院の医者と話すとき」の割合が最も高く58.4%。次いで、「区役所・市役所の人と話すとき（49.3%）」、「駅のアナウンスを聞くととき・駅員と話すとき（47.7%）」、「職場の人と話すとき（43.7%）」、「近所の人と話すとき（41.0%）」となっている。
- 日本語の難しい書類が読めなかった経験について聞くと、**91.2%が「読めなかった経験がある」と回答した**（報告書 p.28 参照）。
- 日本語で読むのが難しいと思ったことがあるものについて聞くと、「銀行の手続きの紙」の割合が最も高く52.0%。次いで、「役所から来る手紙（49.6%）」、「役所で書く申請書（41.0%）」、「携帯電話などの契約書（36.5%）」、「年金についての案内（33.0%）」となっている。

図3 やさしい日本語の認知

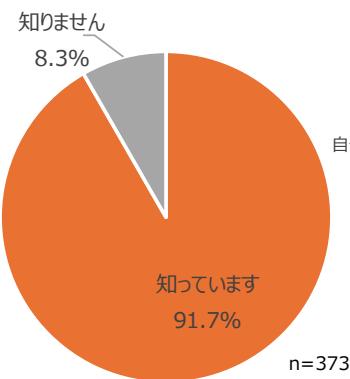


図4 大切な情報についてやさしい日本語の説明があった方がいいか

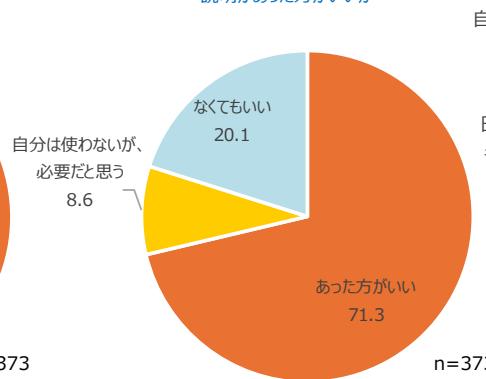


図5 どの言語のチラシがあったら読みたいか

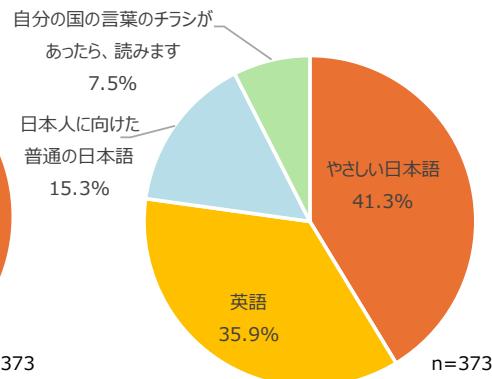


図6 どのレベル・量の日本語の文章を読みみたいか

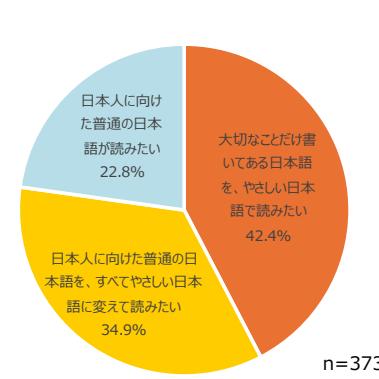
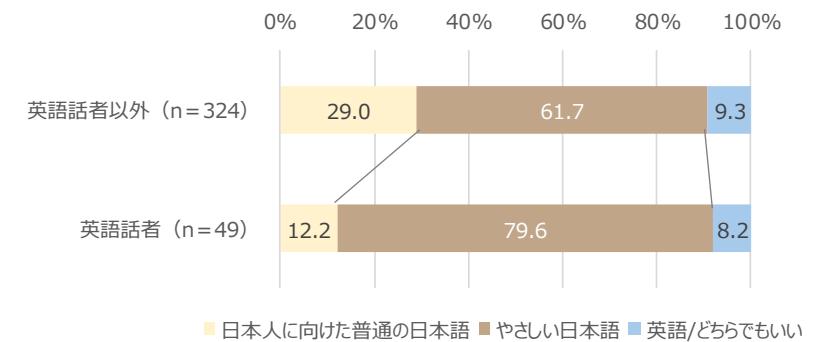


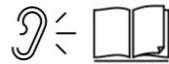
図7 役所の書類をどの言語でもらいたい（母語以外）



- やさしい日本語の認知について聞くと、「知っています」の割合が91.7%と、**在住外国人の9割以上はやさしい日本語を認知している**ことがわかる。
- 大切な情報についてやさしい日本語の説明があった方がいいかについて聞くと、「あった方がいい（71.3%）」、「自分は使わないが、必要だと思う（8.6%）」の合わせて**約8割が「（やさしい日本語の説明が）あった方がいい・必要だと思う」と回答している**。
- どの言語のチラシがあったら読みみたいかについて聞くと、「やさしい日本語」の割合が最も高く41.3%。次いで、「英語（35.9%）」、「日本人に向けた普通の日本語（15.3%）」、「自分の国の言葉のチラシがあったら、読みます（7.5%）」となっている。
- どのレベル・量の日本語の文章を読みみたいかについて聞くと、「大切なことだけ書いてある日本語を、やさしい日本語で読みみたい」の割合が最も高く42.4%。次いで、「日本人に向けた普通の日本語を、すべてやさしい日本語に変えて読みみたい（34.9%）」、「日本人に向けた普通の日本語が読みみたい（22.8%）」となっている。

- 役所の書類を母語以外のどの言語でもらいたいかを英語話者以外と英語話者に尋ねた（図3）。
- 英語話者以外では、「やさしい日本語（61.7%）」、「日本人に向けた普通の日本語（29.0%）」、「英語（9.3%）」となった。英語話者では、「やさしい日本語（79.6%）」、「日本人に向けた普通の日本語（12.2%）」、「どちらでもいい（8.2%）」となった。
- どちらの話者からもやさしい日本語のニーズが高いことがわかるが、**英語話者ではより需要が高い傾向にある**。

<[日本語の理解力(聞く・読む)]市場ボリューム>



ボリューム		日本語の理解力(聞く)	
		あり	なし
日本語の理解力(読む)	あり	51.7% (n=193)	12.3% (n=46)
	なし	20.6% (n=77)	15.3% (n=57)

➤ [日本語の理解力(聞く・読む)]別のボリュームについて左図のとおり整理した。あり×あり51.7%、あり(聞く)×なし(読む)20.6%、なし(聞く)×あり(読む)12.3%、なし×なし15.3%となっている。

<日本語を聞くとき>



- 分かりにくいこと(図6)では、[日本語の理解力(聞く)]の低い人で「**文が長い**」が8割以上を超えている。レベル別では、「**敬語**」の差が特に大きくなっていることがわかる。
- 分かりやすい話し方(図7)では、「**イラストや絵を見せる**」「**難しい言葉は、簡単な言葉に変えて説明する**」「**短い文で話す**」「**ジェスチャーを使う**」の差が特に大きく、[日本語の理解力(聞く)]の低い人にとって分かりやすい話し方であることがわかる。

図8 日本語を聞くときに分かりにくいこと

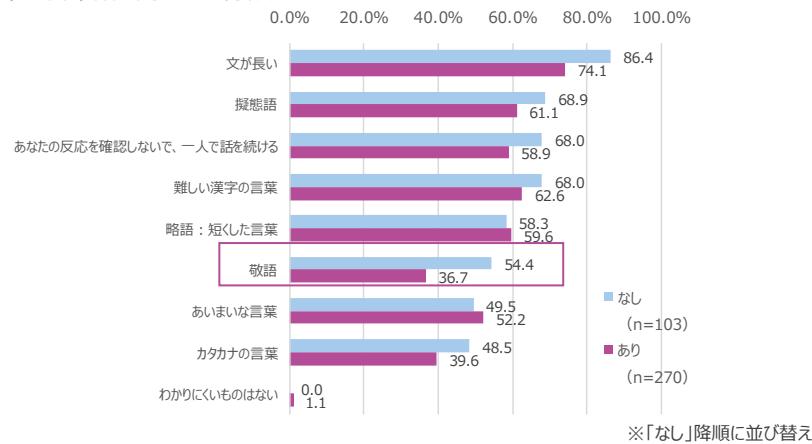
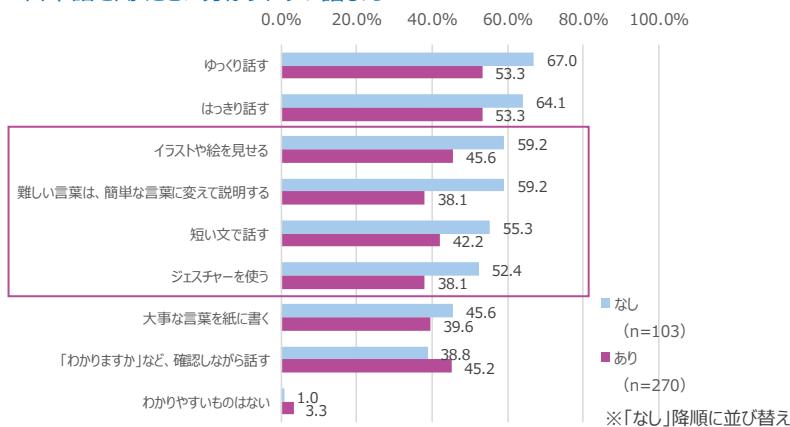


図9 日本語を聞くときに分かりやすい話し方



<日本語を読むとき>



- 「日本語を読むときに分かりにくい言葉(図8)」「日本語を読むときに分かりやすい表現(図9)」について[日本語の理解力(読む)]ごとにまとめた。[日本語の理解力(読む)]は、Q30の「どんな日本語でも読める」「だいたい読める」を[あり]、「あまり読めない」「全然読めない」を[なし]として整理した。
- 分かりにくい言葉(図8)では、[日本語の理解力(読む)]の低い人で「**カタカナの言葉**」、日本語を読む力の高い人で「**擬態語(69.0%)**」「**ローマ字(61.1%)**」がそれぞれ差が大きくなっており、「**[日本語の理解力(読む)]によって分かりにくい言葉に差がみられる**」。
- 分かりやすい表現(図9)では、[日本語の理解力(読む)]の低い人は、高い人に比べてほとんどの項目で高くなっている。特に「**イラスト・写真がある**」「**漢字にふりがながある**」「**文字が少ない**」「**フォント(文字の形)が読みやすい**」「**分かち書きになっている**」の差が10pt以上あることがわかる。

図10 日本語を読むときに分かりにくい言葉

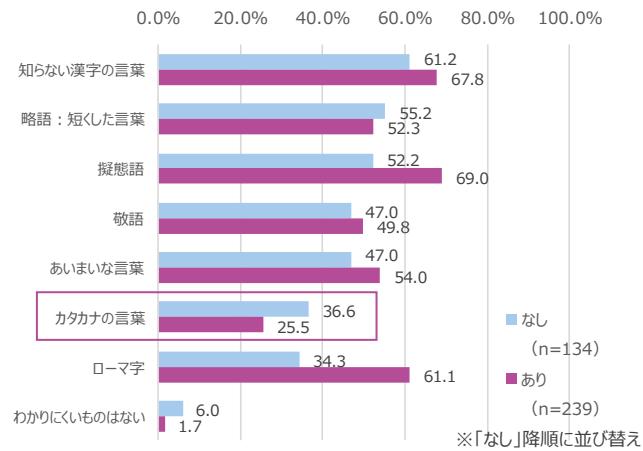
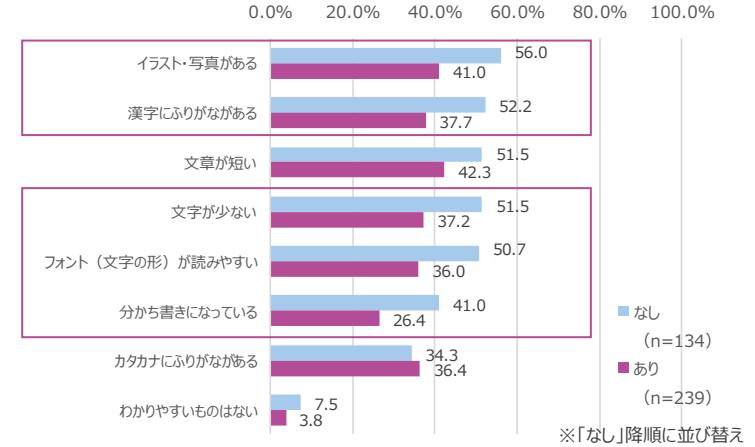


図11 日本語を読むときに分かりやすい表現



- 「分かりやすいふりがなの表示方法(図10)」「分かりやすい説明の表示方法(図11)」について日本語を[日本語の理解力(読む)]別にまとめた。
- 分かりやすいふりがなの表示方法(図10)では、[日本語の理解力(読む)]の低い人で「**B(55.2%)**」、高い人で「**A(59.8%)**」がそれぞれ最も高い。「**[日本語の理解力(読む)]によって分かりやすい表示方法に差異がある**」ことがわかる。
- 分かりやすい注釈の表示方法(図11)では、[日本語の理解力(読む)]の高低に関わらず、「**Aの表現の方が読みやすい**」傾向にあることがわかる。一方で、「わかりやすいものはない」が[日本語の理解力(読む)]の低い人で19.4%となっており、「**[日本語の理解力(読む)]の低い人は、A・Bどちらの表現も分かりにくいと感じる傾向にある**」ことがわかる。

図12 分かりやすいふりがなの表示方法

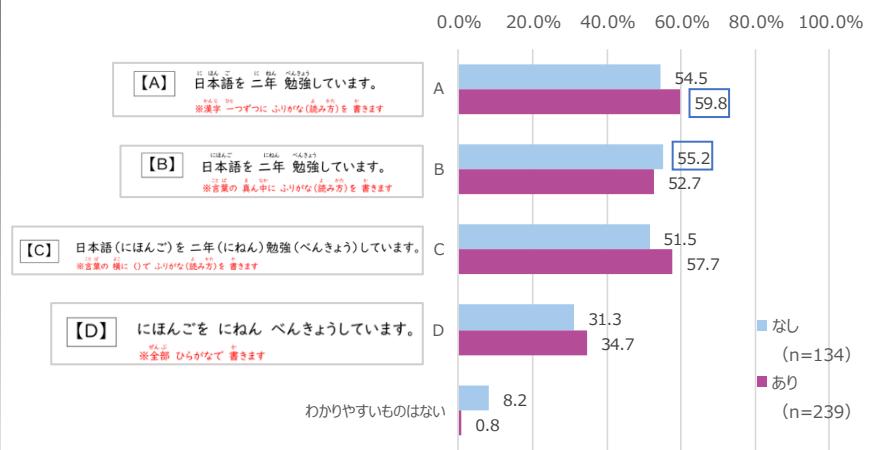
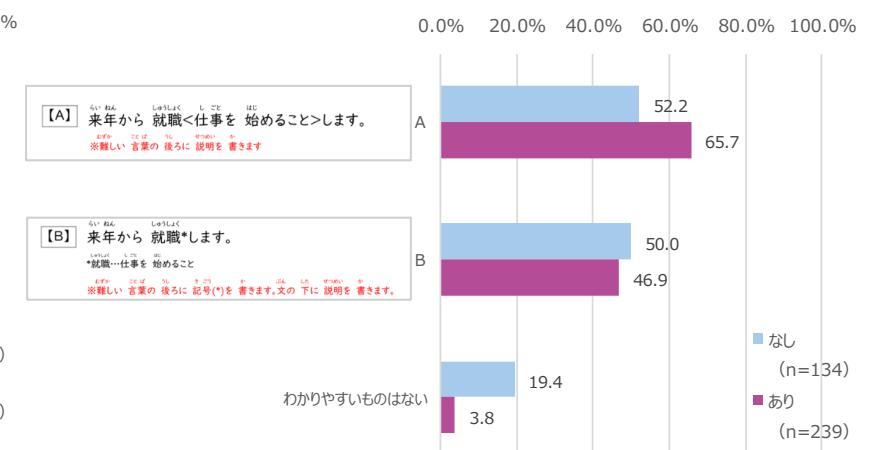


図13 分かりやすい注釈の表示方法



<やさしい日本語に対するコメント抜粋>

- 「やさしい日本語」のおかげで、日本語を学ぶ道のりがとても楽になりました。(中国)
- 敬語や複雑な日本語をやさしい日本語に変換してもらえることは、とても役立ちます。(中国)
- 初心者にとって「やさしい日本語」は読みやすく理解しやすいです。(ナイジェリア)
- 普段からできるだけ「やさしい日本語」を使ってほしいです。(ネパール)